

第8号様式（第7条関係）

令和7年3月7日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 ゆるぷらっとフォーム. Well-being-らぼ

代表者職・氏名 伊藤愛美

所在地

事業名	とだハピ祭り in あいパル
実施期間	令和7年 1月 30日 ～ 令和7年 2月 25日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

昨年は初めての開催ということもあり、「とにかくやってみよう！」というチャレンジのお祭りでした。2回目の今回は「推し！子ども♪」をキャッチコピーに、子どもを真ん中にしたお祭りでした。大規模のお祭りを無事故で終えたことは運営スタッフの皆様のチームワークによるものでした。お祭りの目的を共通認識してスタートした運営は成功に終わりました。

事業名: とだハピ祭り in あいパル

実施日時: 令和7年2月11日(火・祝)

実施場所: 上戸田地域交流センターあいパル

実施体制: 当団体メンバー7名、運営ボランティア20名、当日ボランティア20名、その他出展協力者

戸田第一小学校の有志の児童・保護者・教職員・地域の方による出展

児童32ブース(140人)…総合の学習発表、バンド演奏、ダンス発表など

保護者・地域の大人13ブース(40人)…工作系ワークショップ、ウォーキング講座、科学実験など

教職員3ブース(15人)…書道パフォーマンス、バンド演奏、体力向上教室

児童&大人コラボ7ブース(40人)…太鼓演奏、ダンス発表、大谷グローブ体験など

飲食系4店(8人)…キッチンカー2台、マフィン販売、ファミリーマート

クイズラリー景品交換(6人)

合計60ブース(249人)

【SDGsの成果】 目標: 出展ブース50チーム→60チーム(達成)

目標: 来場者数2000人→各ブース集計約2000人(達成)

アンケート結果(一部抜粋) 来場者(70人回答)

目標: 満足度5段階評価4以上70%→99%(達成)

目標: 次回の開催期待度70%→100%(達成)

出展者(75人回答) 目標: 満足度5段階評価4以上

80%→98%(達成) 目標: 次回の開催期待度70%→100%(達成)

◎SDGs ゴール4. 質の高い教育をみんなに…

目標: 学校に興味・関心をもってもらい協働してくれる大人を増やす。

・学校からの発信に興味・関心を持つ人が増えた。

→とだハピ祭りInstagramフォロー、フェイスブックフォロー増。

・ゲストティーチャー、ボランティアの積極的な協力者が増えた。

→コミュニケーションが取りやすくなったおかげで学校側がリクエストしやすくなった。

・登下校や放課後の見守りについては今後も協力を呼びかけていく。

- ・地域に出ることで児童のPBL学習（課題解決型学習）が活発になった。
- ・『人、物、事、場所』の協力者が増えた。
- ・次回は令和8年2月11日（水・祝）開催決定。

当団体が考える『質の高い教育』とは、学校を含む地域が、すべての人にとって安心してわくわく学び合う居場所になることです。『とだハピ祭り in あいパル』では、子ども同士や教職員はもちろん、日ごろから交流のある保護者や放課後子ども教室、おはなし会、子ども会のスタッフ、イベントで一緒にすることが多かった企業、あいパルの職員の皆様など多くの安心できる大人たちの中で子どもたちがのびのびと挑戦できました。安心できる空間の中で失敗を恐れず様々なことにチャレンジできたことは子どもも大人も大きな学びとなりました。開催中もお互いが声をかけあい、助け合って活動する姿が自然と見られました。分からないことや困ったことも積極的に人に相談して解決する姿がありました。

SDGs ゴール 11. 住みつづけられるまちづくりを…

目標:お互いのコミュニケーションを活発にする。

- ・お祭りの話題をきっかけに保護者や教職員、児童、地域の人同士が声をかけやすくなった。
- ・学校やPTAからのリクエストの募集フォームへの参加者が増えた。
- ・お祭り準備や当日の運営に積極的に参加しようとする児童がいた。

アンケート結果から一部抜粋

- 卒業生とその保護者…久々の再会が嬉しかった。
 - 新一年生親子…入学前の不安が軽減された。
 - 在校生…放課後子ども教室、子ども会に参加したい。
 - 他校関係者…自分たちの学校でもやってみたい。
- ※来場者にも効果があったことがわかりました。

とだハピ祭り in あいパルをきっかけに、これまで単体で活動していた団体同士を繋げることができました。元々の活動内容以外の場でも「私たちにできることがあれば」と、柔軟に参加していただけるようになったことは、『学校×地域』を支えるチームづくりの土台になりました。

今後、様々な場面で学校に関わっていただく中で、課題を共有しながら解決に向けて協働していきたいです。

また、学校の枠を飛び越えた市民活動としての当お祭りをとおして、参加する方々が普段とは違う感動やわくわくする気持ちを感じ、その気持ちが原動力となり持続的に活動していきたいです。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
1/26（日）	出展者説明会
2/10（月）	前日準備
2/11（火）	とだハピ祭り in あいパル開催当日
2/19（水）	振り返りの会（実行委員、あいパル職員）

3 事業の実施体制

日 時:令和7年2月11日(火・祝) 10-14時

場 所:上戸田地域交流センターあいパル

対象者:地域の方 どなたでも

運 営:当団体メンバー7名、運営ボランティア20名、当日ボランティア20名、
その他出展協力者

4 反省点と課題

- ・来場者数に対し飲食系ブースが少なくキッチンカーに長蛇の列が生じてしまいました。次回はもう少し飲食系の出展協力を募りたいです。
 - ・ホールスケジュールが詰め込みすぎだったり、スペースが狭いことで活動にくいブースがあったので、次回は児童の出展内容を事前に十分把握してブースを配置したいです。
 - ・当日のボランティアスタッフがまだ不十分だった場所があるので、次回は早くから協力者を募りたいです。
 - ・お祭りづくりに参加したい！と共感をしてもらえるような発信方法を企業や団体の協力を得ながら改善していきます。
 - ・出展者、来場者が共にお祭りを創る当事者であることをより意識してもらいたいため、以下のことに取り組みます。
- ①参加の心得ブックなどの発行②お祭りの目的の積極的な発信③子ども実行委員を募る。

次回開催に向けた目標設定では、更により良いお祭りを目指すために「子どもと大人」「出展者と来場者」が、お互いに心地よく過ごせるお祭りを創るために、より一層「みんなでお祭りを創る当事者性」を意識したいという目標を立てました。当お祭りは学校の教育活動としてではなく市民活動として『学校×地域』をテーマにしたお祭りです。『学校と地域が共に社会をつくっていく』という意識を学校・地域の皆様にも広げるために、今後も学校ボランティアの機会や地域活動の参加など、当団体としてできることを積極的に発信・行動していきます。

《収支報告書》

【収入】

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②－①)	内 訳
補助 金・ 助成金	当補助金	50,000 円	50,000 円		
	その他				
自己資金		5,000 円	3,575 円	△1,425 円	
会費（参加費等）					
利用者負担金（売上 等）					
協賛金・寄附					
その他					
合 計		55,000 円	53,575 円	△1,425 円	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①－②)	内 訳
補 助 対 象 経 費	講師謝礼	10,000 円	10,000 円	0 円	チアダンス講師、ダンス講師、プロジェクト講師 2 名、各 1000 円 少年野球団コーチ、ステージ ゲスト、各 3,000 円
	賃借料	10,000 円	13,751 円	△3,751 円	教職員バンド楽器等運搬のためのレンタカー、ガソリン代
	消耗品費	15,000 円	14,456 円	544 円	養生テープ、ビニールシート 模造紙、墨汁、文房具
	食糧費	20,000 円	15,368 円	4,632 円	参加賞菓お子代 クイズラリー参加賞 800 人分、少年野球団体験ブース参加賞 200 人分
	小 計	55,000 円	53,575 円	1,425 円	※支出額内訳 補助金充当額：50,000 円 自主財源：3,575 円

